

公表 事業所における自己評価総括表

○事業所名	OZデイみずまき		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 7日		2026年 2月 15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	14 (回答者数)	7
○従業者評価実施期間	2026年 2月 7日		2026年 2月 15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	13 (回答者数)	10
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 4日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	看護師や理学療法士、作業療法士等、専門的な資格を持ったスタッフが多く、人数も充実している。	それぞれの専門分野を生かした関わりを行い、子どもたち一人ひとりの状態を把握できるように工夫しています。 日々の活動や行事の際に、安全に楽しむことができるよう、職種間で連携しながら行っています。	今後もスタッフ間で連携しながら、子どもたちの成長を見据えて様々な活動や訓練等を行っていきます。
2	未就学児や就学児だけでなく、卒業後も安心して通うことができる。	様々な年齢の子どもたちが集まる事業所なので、異年齢同士の関わりはもちろん、みんなが楽しめる活動を行っています。	これからも様々な研修に参加したり、スタッフ間で話し合いながら、活動の幅を広げていきたいと思えます。
3	ご家族との信頼関係を築くことができている。	送迎時等に積極的にコミュニケーションを図るとともに、月に1回のOZだよりやOZ通信で子どもたちの様子や制度の話を伝えていきます。	ご家族の話を傾聴して訴えや要望を把握し、スタッフ間で共有しながら対応していきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域住民との交流や、学校、保育園、他の事業所と連携が不十分。	交流する人や場所、時間が限られており、頻繁にやり取りを行うことが難しいこと。	地域のイベントや、学校や他の事業所のイベントに参加する等、積極的に交流を図っていきます。
2	子どもたちの成長に伴う介助量の増加とスタッフの身体への負担。	建物や事業所内の環境により、介護用機械の導入が進んでいなかったこと。	新しい事業所では入浴用のリフトを導入するほか、今後も必要な機器の購入についてはスタッフ間で検討しながら、スタッフ一人ひとりが健康で長く働ける環境を整えていきたいと思えます。
3			